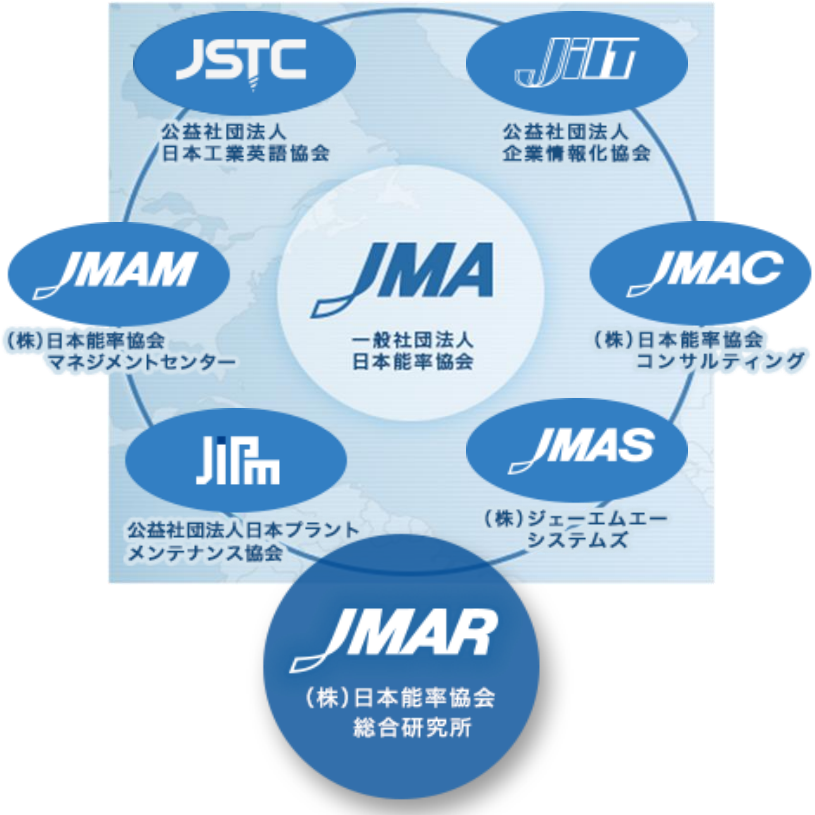
都立図書館協議会第4回定例会
図書館の未来

株式会社日本能率協会総合研究所
MDB事業本部　菊池健司

2026年5月28日

日本能率協会総合研究所のご紹介

経営革新を使命とする日本能率協会グループの中で、調査研究・情報提供機能を発揮



研究員・コンサルタント：150名

日本能率協会グループ

●経営革新と社会の発展を先導・支援

●グループ全体でおよそ1,600名におよぶ研究員・専門家・コンサルタントが、国内・世界各国で活動

JMAR 株式会社 日本能率協会総合研究所

●本質を見極め、適切な判断と行動を促す「知」を提供

Keywords ：先端的かつ実践的な知識、知恵、ノウハウの提供
：お客様の実情に即した適切な経営判断や行動
実践を促し、成果を実現

自己紹介

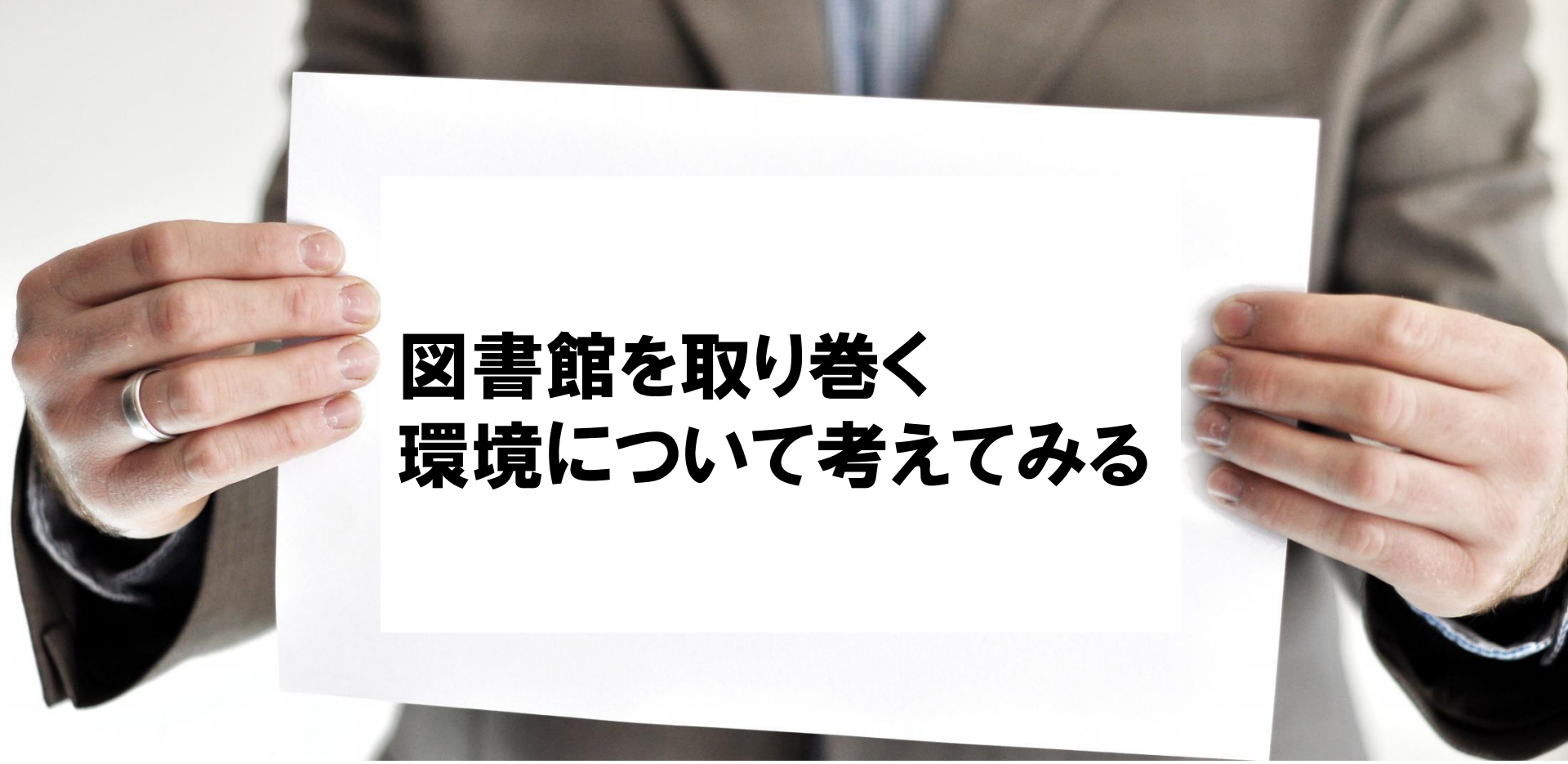
株式会社日本能率協会総合研究所　MDB事業本部
エグゼクティブフェロー　菊池 健司

1990年日本能率協会総合研究所入社、マーケティング・データ・バンク（MDB）配属。
外資系金融機関での勤務を経て、現在に至る。MDBは、2026年4月現在、約2,000社の
会員企業を有する日本最大級のビジネス情報提供機関。
民間企業、官公庁、大学、自治体等からの要請に応じ、公開情報を中心とした情報提供業務に
長年携わる。

現在は、リサーチ力を基盤とした企業の未来戦略・新規事業策定の伴走支援を中心に、情報収集・
活用手法のセミナー・研修、未来予測・未来ライフスタイル、特定ビジネスに関する将来　トレンド解説、
そして人材育成等を日々実施している。

○JMAM「Learning Design Members」書評連載（新・書籍に学ぶビジネストレンド）

○2024年11月～ラジオNIKKEI「グローバル・ビジネス総合研究所」（毎週木曜昼12:00～）
パーソナリティ
○2023年10月～FM軽井沢「菊池健司の5min.グローバル経営学」（月～金19:53～）
パーソナリティ


図書館を取り巻く
環境について考えてみる

図書館に影響を与えるビジネスキーワード

フィジカルAI／DX

人間とロボットの共存の時代へ…。
図書館への影響は…

AIエージェント

AIに加える情報をどう捉えるか？情報そのものをどう読み解くか…

SX/GX

持続可能なサービスの創出／展開はもちろん重要です…

図書館×テクノロジー…

図書館運営におけるフィジカルAI活用事例として、TRCによる「temi」の取組みも1つの例として挙げられる。世界で最も美しい図書館と称されるフィンランドのOodiにおいても、協働ロボットの活躍が職員の利用者対応時間拡大に一役買っている。

temiプロジェクト概要

図書館は、これまでも情報を提供する場として重要な役割を担ってきました。しかし、未来の図書館はそれにとどまらず、人々がつながり合い、新しい体験を創造する「場」としての役割が期待されています。temi は、利用者同士の交流を促進し、図書館スタッフがより利用者に深く関われる時間を創出します。これにより、図書館は「人」と「技術」が一体となり、新しい文化を生み出す空間へと進化します。

導入施設と期間

対象施設　東京都墨田区立緑図書館／東京都中央区立晴海図書館／TRC本社ビル
実証期間　2024年11月から2025年4月までの6ヶ月間

TRCとハピロボの役割

TRCは、図書館運営業務におけるtemi活用の企画・運用し、図書館を未来の学びと交流の場として進化させることを目指し、temiの活用を通じて図書館の役割を拡大していきます。
ハピロボ は、技術サポートを提供し、temiの供給・運用サポートを実施し、図書館の新しい文化創出に貢献するための基盤を整えます。

図書館現場での主な実証実験内容

・告知：おはなし会・イベント等のアナウンス
・巡回：事前登録による館内巡回、閉館案内・声掛け
・案内：事前登録されたエリアへの誘導

図書館に影響を与える社会環境の変化

少子高齢化

確実に来る未来…
子供の数は45年連続
減少中…

世界最速

順調に進む世界最速
高齢化…そして、もう
1つの世界最速とは…

地球沸騰化

猛暑が世界を変えていく
故に今起こっている
こととは…

縮むニッポン：人口減少トレンドの中で

表Ⅱ-1　都道府県別総人口と指数（令和2（2020）年＝100）

地域	総人口（1,000人）							指数（令和2(2020)年＝100）	
	令和2年（2020）	令和7年（2025）	令和12年（2030）	令和17年（2035）	令和22年（2040）	令和27年（2045）	令和32年（2050）	令和17年（2035）	令和32年（2050）
全国	126,146	123,262	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686	92.5	83.0
北海道	5,225	5,007	4,792	4,562	4,319	4,068	3,820	87.3	73.1
青森県	1,238	1,157	1,077	996	914	833	755	80.4	61.0
岩手県	1,211	1,138	1,066	995	924	853	783	82.2	64.7
宮城県	2,302	2,239	2,172	2,097	2,014	1,924	1,830	91.1	79.5
秋田県	960	888	819	752	686	622	560	78.3	58.4
山形県	1,068	1,005	945	886	828	769	711	83.0	66.6
福島県	1,833	1,732	1,640	1,546	1,449	1,349	1,247	84.4	68.0
茨城県	2,867	2,783	2,688	2,584	2,473	2,359	2,245	90.1	78.3
栃木県	1,933	1,867	1,802	1,732	1,658	1,581	1,502	89.6	77.7
群馬県	1,939	1,878	1,815	1,746	1,673	1,597	1,521	90.1	78.4
埼玉県	7,345	7,316	7,224	7,101	6,953	6,794	6,634	96.7	90.3
千葉県	6,284	6,258	6,179	6,076	5,956	5,824	5,690	96.7	90.5
東京都	14,048	14,199	14,349	14,459	14,507	14,483	14,399	102.9	102.5
神奈川県	9,237	9,201	9,122	9,012	8,869	8,703	8,524	97.6	92.3
新潟県	2,201	2,084	1,974	1,863	1,751	1,637	1,525	84.6	69.3
富山県	1,035	986	942	898	852	806	762	86.8	73.6
石川県	1,133	1,092	1,057	1,019	979	937	897	90.0	79.2
福井県	767	733	703	672	639	606	573	87.6	74.7
山梨県	810	782	749	716	681	646	612	88.4	75.5
長野県	2,048	1,974	1,899	1,822	1,743	1,663	1,582	89.0	77.2
岐阜県	1,979	1,901	1,820	1,734	1,646	1,557	1,468	87.6	74.2
静岡県	3,633	3,511	3,386	3,254	3,116	2,973	2,829	89.6	77.9
愛知県	7,542	7,453	7,346	7,211	7,050	6,870	6,676	95.6	88.5
三重県	1,770	1,703	1,637	1,568	1,496	1,422	1,347	88.6	76.1
滋賀県	1,414	1,399	1,376	1,346	1,309	1,267	1,223	95.2	86.5
京都府	2,578	2,518	2,445	2,361	2,267	2,170	2,076	91.6	80.5
大阪府	8,838	8,676	8,438	8,167	7,874	7,570	7,263	92.4	82.2
兵庫県	5,465	5,310	5,145	4,964	4,767	4,564	4,358	90.8	79.7

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」2023年12月
https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/1kouhyo/gaiyo_s.pdf

2040年の東京都の世帯数は…

東京都の一般世帯数に占める家族類型別世帯数の割合をみると、2020年は単独世帯の50.2%と過半数、次いで夫婦と子供の世帯は22.0%、夫婦のみの世帯は16.4%の順となっている。2045年には単独世帯が53.9%、夫婦と子供の世帯は19.0%、夫婦のみの世帯は17.0%の順となる見込みである。

表２　家族類型別世帯数及び割合（東京都、区部、多摩・島しょ）

（単位　世帯、%）

年次	一般世帯					
	総数	単独	夫婦のみ	夫婦と子供	ひとり親と子供	その他
	東京都（世帯数）					
平成17(2005)年*	5,747,460	2,444,145	1,001,392	1,489,139	440,836	371,948
22(2010)年*	6,382,049	2,922,488	1,088,917	1,525,197	480,350	365,097
27(2015)年*	6,690,934	3,164,675	1,138,340	1,567,782	506,214	313,923
令和2(2020)年*	7,216,650	3,625,810	1,185,778	1,589,755	526,574	288,733
7(2025)年	7,548,388	3,912,958	1,217,559	1,586,569	549,316	281,986
12(2030)年	7,647,182	4,016,660	1,251,839	1,555,704	557,622	265,357
17(2035)年	7,682,898	4,091,247	1,265,552	1,522,837	554,654	248,608
22(2040)年	7,658,716	4,114,181	1,279,552	1,482,991	550,179	231,813
27(2045)年	7,605,749	4,100,658	1,289,292	1,448,782	552,243	214,774
	東京都（割合（%））					
平成17(2005)年*	100.0	42.5	17.4	25.9	7.7	6.5
22(2010)年*	100.0	45.8	17.1	23.9	7.5	5.7
27(2015)年*	100.0	47.3	17.0	23.4	7.6	4.7
令和2(2020)年*	100.0	50.2	16.4	22.0	7.3	4.0
7(2025)年	100.0	51.8	16.1	21.0	7.3	3.7
12(2030)年	100.0	52.5	16.4	20.3	7.3	3.5
17(2035)年	100.0	53.3	16.5	19.8	7.2	3.2
22(2040)年	100.0	53.7	16.7	19.4	7.2	3.0
27(2045)年	100.0	53.9	17.0	19.0	7.3	2.8

東京都「東京都世帯数の予測」2024年3月
https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/syosoku/sy24rf0000.pdf

Road to 2030…そして2050

2027～

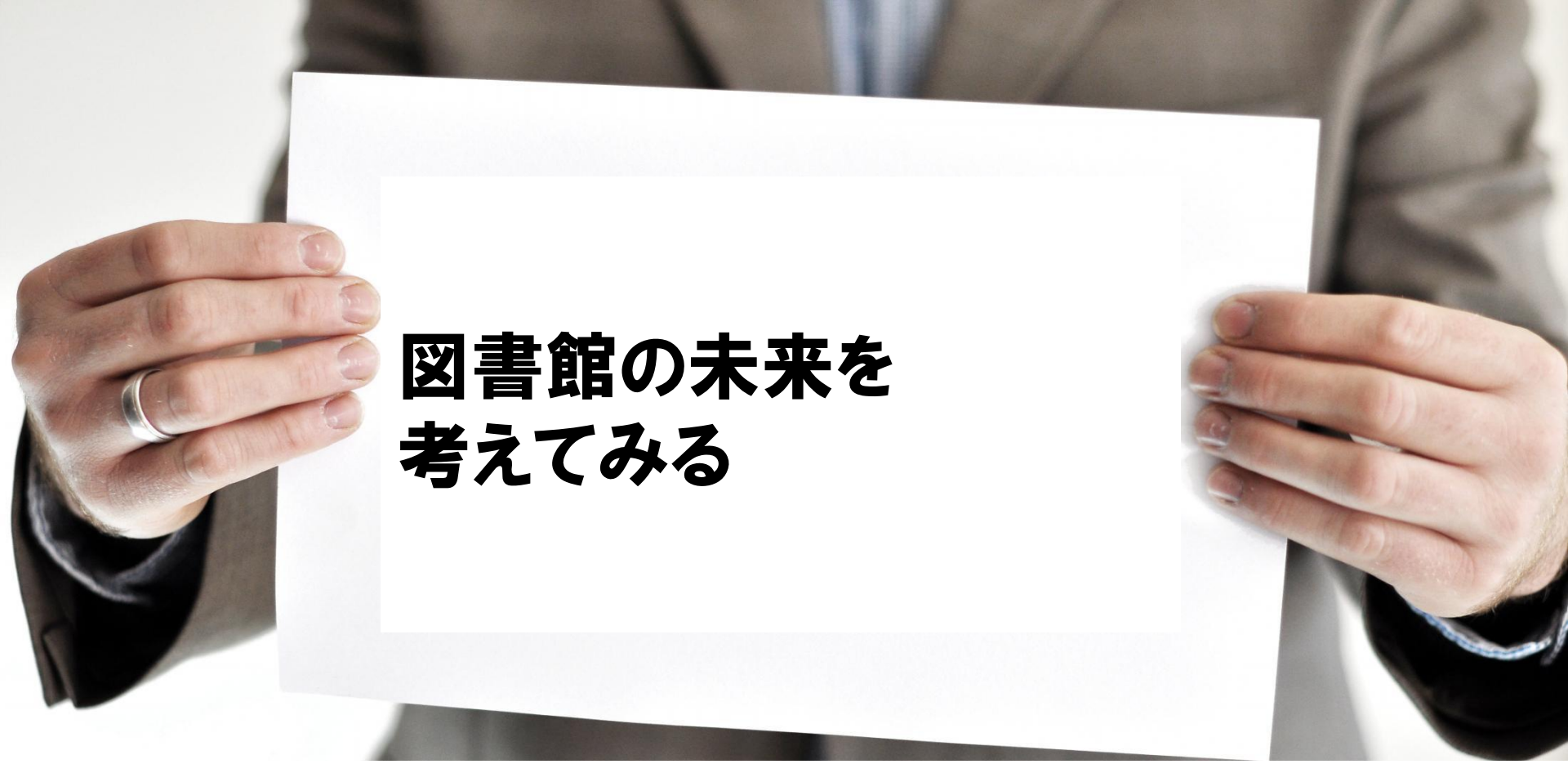
- フィジカルAIによるビジネス変容
- リニア中央新幹線開通
- 日本を大切にしながら海外で稼ぐ
- デジタル全盛によるリアル価値再評価
- 考え抜く人の減少？
- 2050年:カーボンニュートラル
- 2050年: 単独世帯44%超え
- 2050年:世界4大大国時代へ

2025～

- 2025年:大阪万博／AIエージェントイヤー／世代交代／β世代
- 2026年:異業種提携本格化／フィジカルAI／ブルーカラー脚光／DX差異拡大／「考え抜く」ことの価値／国策の行方／対立と対話

日本が伸ばしたい17の産業分野は…

内閣官房「日本成長戦略会議」2025年12月
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nipponseichosenryaku/kaigi/dai2/shiryou1-1.pdf


図書館の未来を
考えてみる

社会的包摂の
視点

全ての人に開かれた図書館サービスとは…

【図書館の今後の機能・役割】
「読む」×「集う」×「学ぶ」=「新たな地域共創」へ

○利用者・住民の自主的・自発的な学習活動への支援
○メディア情報リテラシーやサードプレイスとしての取組も展開
○閲覧・個人学習スペースやコラーニングスペースの充実・提供
○立ち寄りやすさ居心地の良さも備えつつ、総合力で地域に寄与

【学校図書館の今後の機能・役割】
学びの深化を担い、一人一人の「好き」を育み
「得意」を伸ばす居心地の良い学校の「中心」へ

○あらゆる教科等での計画的利用、探究的な学習、「個別最適な学び」「協働的な学び」のための機能強化
○不登校傾向の子を含め、多様な子供を包摂する、居心地の良い学び場としての学習支援機能の発揮
○校長のリーダーシップによる常時開館・自由利用の推進。学校司書の常時配置への努力
○入館のきっかけ、読書推進のためのマンガ本の配架

2．全ての人に開かれた図書館サービスの構築に向けた方策

● ユニバーサルアクセスの実現に向けて	● 対話と活動による地域の連携・協働の一層の推進	● 図書館・学校図書館を支える人材の充実
▹ 電子書籍サービスの拡大、デジタル化の推進、地域間格差縮小のための広域連携 ▹ 読書バリアフリー（視覚障害者等・高齢者等への対応）の推進 ▹ 「りんごの棚」などのアクセシブルな書籍等紹介コーナーの設置促進 ▹ 先進事例の共有、アウトリーチによる支援体制強化	▹ 地域ニーズ把握のための利用者・非利用者との対話 ▹ 都道府県立・市町村立図書館と学校図書館の連携推進 ▹ 学びの多様化等への対応のための公民館等他機関との連携 ▹ 文字・活字文化を共に支える地域の書店・出版社等との連携 ▹ 地域における読書推進人材との連携・協働	▹ 司書の配置促進、地域のファシリテーターとしての役割も担当 ▹ 校長の館長としての自覚とリーダーシップの発揮 ▹ 11学級以下の学校も含めた司書教諭の積極的発令と時間確保 ▹ 学校司書の専任化含めた配置促進 ▹ 司書・司書教諭・学校司書に係る養成科目の一体的見直し

3．図書館・学校図書館に係る制度・基準の見直し

国	図書館の「望ましい基準」「学校図書館ガイドライン」等の改定や関係法令の改正の検討
地方公共団体	司書・司書教諭・学校司書の配置や研修の在り方の見直し、館種や校種を越えた人的交流
各図書館・学校	図書館協議会や学校運営協議会も活用した運営充実、児童生徒目線の教育活動全般改善

文部科学省「図書館が拓く未来の学びと地域社会」2026年3月
https://www.mext.go.jp/content/20260317-mxt_chisui01-000039005_01.pdf

図書館×外国人支援…

図書館名 / 国	サービス名称	主な支援内容	先端・革新的なポイント
ドック1（Dokk1）（デンマーク・オーフス）	市民サービス統合型ワンストップ・ハブ	住民登録（CPR番号発行）、税金相談、多言語による生活情報提供。	図書館内に市役所の出先機関（市民サービスセンター）が完全融合。移住直後の行政手続きと文化・学習支援を同一地点で完結。
トロント公立図書館（カナダ）	生成AI活用支援プログラム「Learn AI」	新規移住者や特定コミュニティ向けの生成AI（GenAI）利用トレーニング。	2025～2026年の最新トレンド。移住者がAIリテラシーを身につけることで、就職活動や言語習得の効率を劇的に高める支援を展開。
リンケビュー図書館（スウェーデン）	多言語「スーパー司書」による伴走型支援	3ヶ国語以上を操る司書による1対1の言語習得、無料法律相談、宿題支援。	司書を単なる管理者ではなく、「多言語対応のソーシャルワーカー」**として配置。弁護士と連携したリーガル・アドバイスも個室で提供。
米国主要公立図書館（サンフランシスコ等）	データ・プライバシー・リテラシー教育	入管当局などの監視リスクから身を守るための、個人情報保護やデジタル・フットプリントの管理指導。	政治的・法的に脆弱な立場にある移民に特化。「データ・リテラシー＝身を守る武器」**と捉え、プライバシー保護の技術を体系的に教育。
英国公立図書館（全国プロジェクト）	「Welcome To Your Library」アイデンティティ支援	図書カードを「市民権の第一歩」と位置づけ、難民等のアイデンティティ確立を支援。	住所不定や証明書不足の者でもカードを発行。「図書カード＝社会に受け入れられた証」という心理的統合（ウェルビーイング）に重点。

移動困難は「買物」だけの話題ではないのでは…

青山の買い物弱者問題について

目次

- 区民の声の要旨
- 区の対応・考え方の要旨

区民の声の要旨

青山通り沿いのスーパー閉店以降、買い物が不便です。高齢区民や一般住民が利用しやすい店舗や施設が不足しています。児童相談所を証明書発行なども可能な出張所的機能、年金事務所を入れたらどうだろうか。
観光客や外交官、駐在員ばかりのニーズを優先ではなく、区民ニーズに合った街づくりを求めます。

区の対応・考え方の要旨

近隣にスーパーマーケットが無いという区民からの要望の多い地域について、区は開発事業者に対し、生活利便施設としてスーパーマーケットを要望して誘致に取り組んでいます。

過去南青山３丁目付近には、様々なニーズに応じて、複数のスーパーマーケットが出店するようになりました。

また、東京都と協力し、北青山3丁目の都営住宅敷地内で移動販売等も行っています。ご要望があったファミリーレストランについては、青山通り沿いにおける開発事業者に対し、誘致出来るよう努めてまいります。

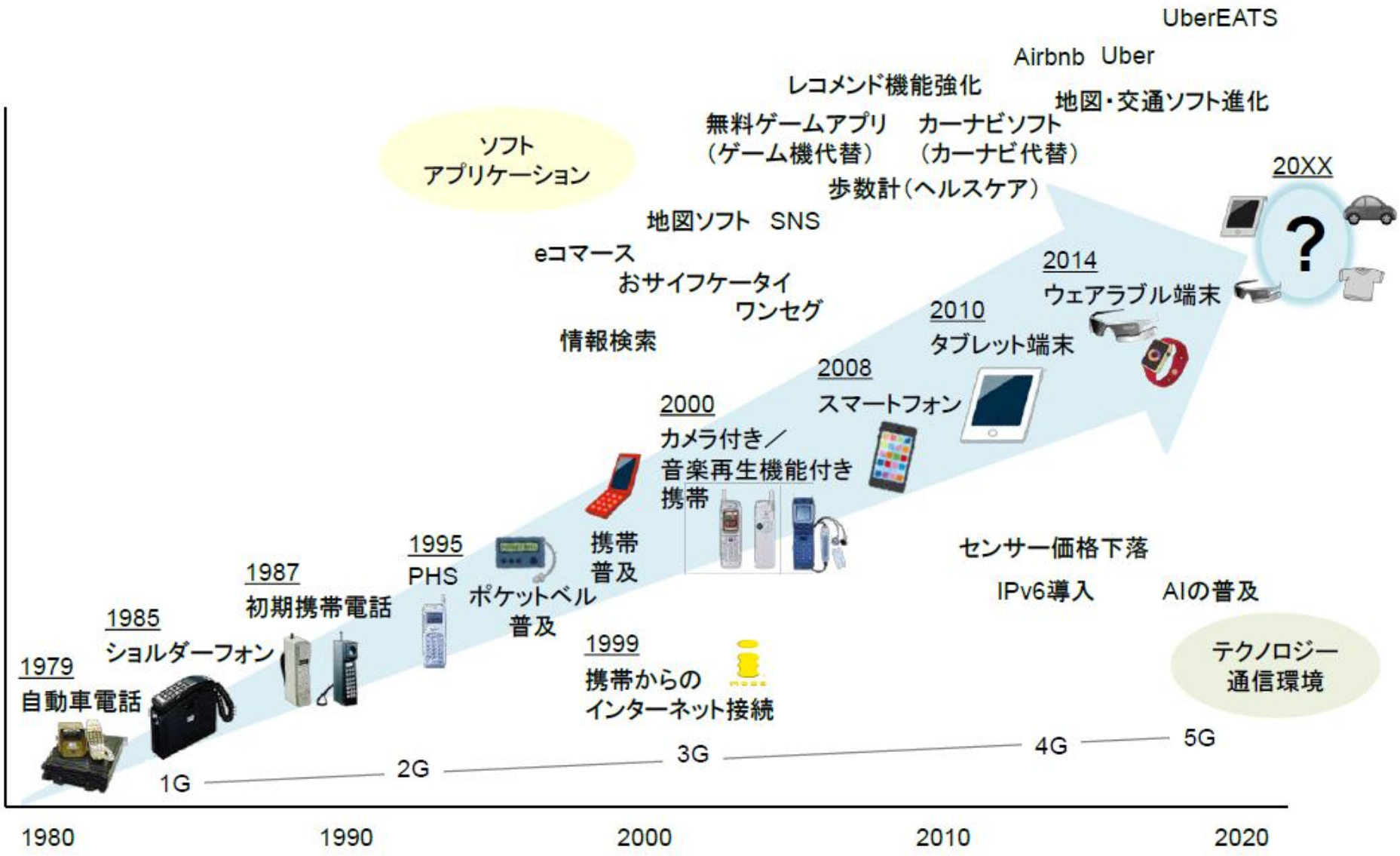
港区ホームページ 2025年6月
https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/ikenshokai49/1622.html

自動運転×移動図書館？

Mimiru Hills Park
みみる丘公園
みらいライブラリー
HIRAI MOBILE LIBRARY 2035
移動図書館
みらい号
2035年5月15日(土)
10:30-16:00
次は
さくら広場
蔵書：30,000冊+
本の
チカラを、
未来へ。

テクノロジーの
進化

10年タームで変化する～次のデバイスは？



文部科学省「2050年の産業メガトレンド」2017年11月
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/093/shiryo/__icsFiles/afieldfile/2017/12/05/1399021_2.pdf

「生成AI活用」のポイントとは…

AIアウトプットに加えるべき知識を増強しておく…

特に意識しておきたいのは…デジタル化されていない情報

A

アナログでしか出回らない情報

B

自館内の生き字引情報

展示で
差別化する

日本が伸ばしたい17の産業分野との連動

内閣官房「日本成長戦略会議」2025年12月
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nipponseichosenryaku/kaigi/dai2/shiryou1-1.pdf

2050年東京戦略との連動

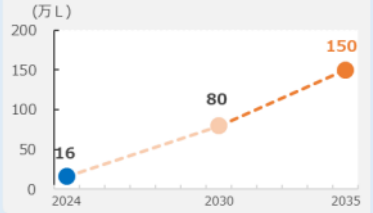
2050東京戦略 ～東京 もっとよくなる～

政策目標の上方修正・新設（一覧）

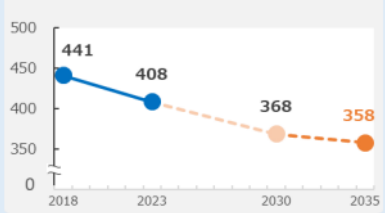
新設

【ゼロエミッション】

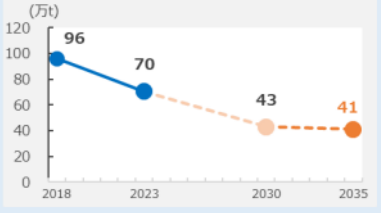
■ SAF普及拡大に向けた廃食用油の回収量　150万L



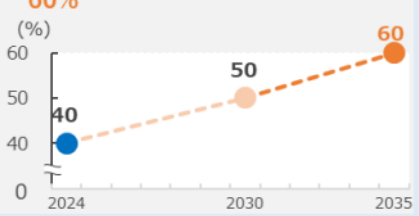
■ 一般廃棄物排出量　358万t



■ 最終処分量（一般廃棄物＋産業廃棄物）41万t



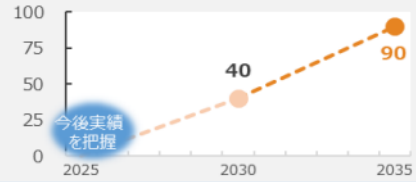
■ 暑熱順化に取り組む都民の割合　60%



【インフラ・交通】【共生社会】

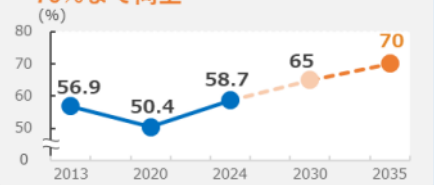
■ 都道のバリアフリー化推進（第２次東京都道路ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ推進計画）

(km) 優先整備路線の整備　約90km



【コミュニティ】

■ お住まいの地域は困ったときに助け合い、支え合うと思う方の割合を70%まで向上



【多摩・島しょ】

■ 小笠原住宅の建替え

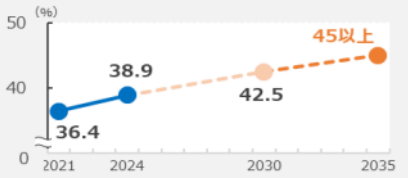
・父島清瀬アパート１期竣工（2026年度）
・母島沖村アパート１期竣工（2028年度）

➡移住・定住の促進にも活用

【文化・エンタメ】

■ 制作環境等※が充実していると考えるアーティスト等の割合を45%以上へ向上

※練習場所、発表場所も含む



https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/seisakukikaku/2050tokyo-suishin

東京が誇るイベントとの連動

https://sushitech-startup.metro.tokyo.lg.jp/

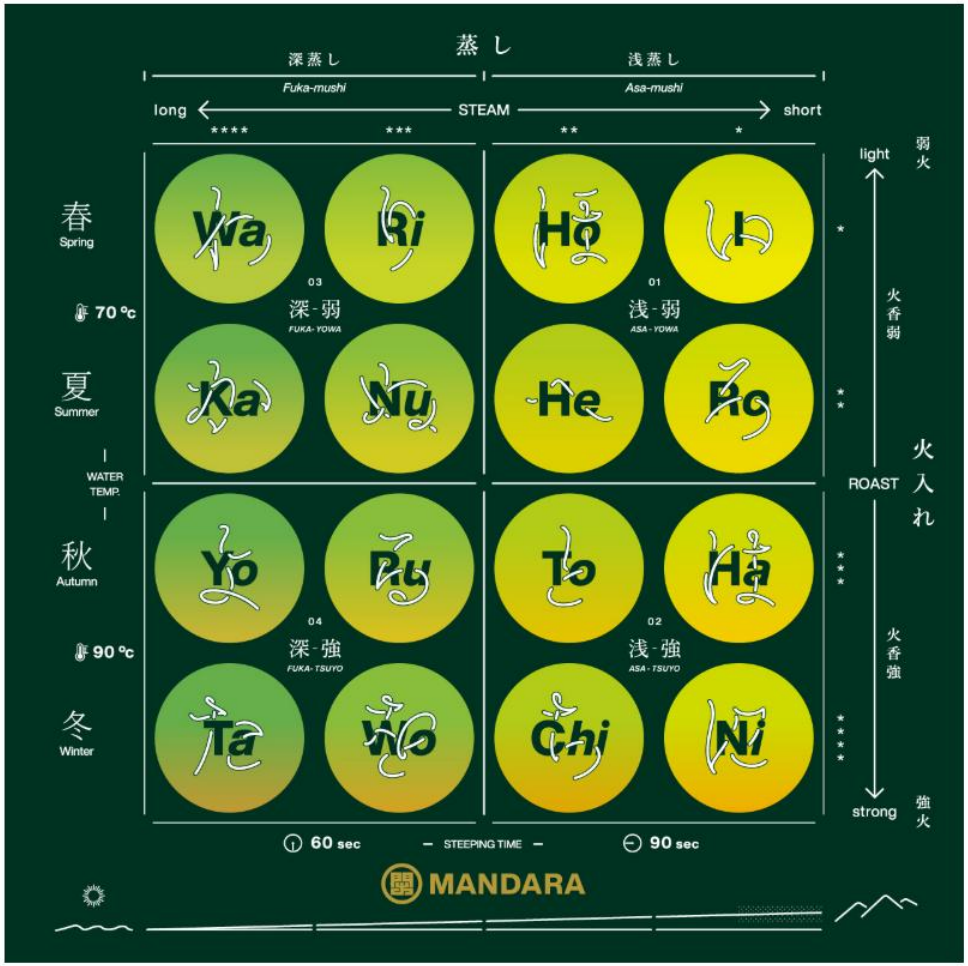
わざわざ
来てくれる場を
創る

心が動く体験とは？

KADODE OOIGAWA

インフォメーション　お問い合わせ　緑茶診断

GREEN TEA MANDARA　新着情報　施設案内　イベント　アクセス　団体のお客様



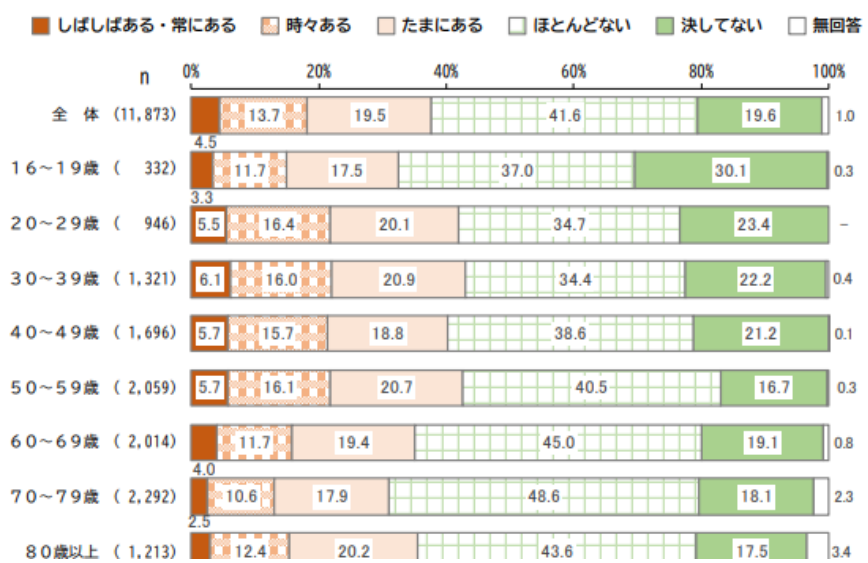
https://kadode-ooigawa.jp/green_tea_mandara/

「孤独」という社会課題

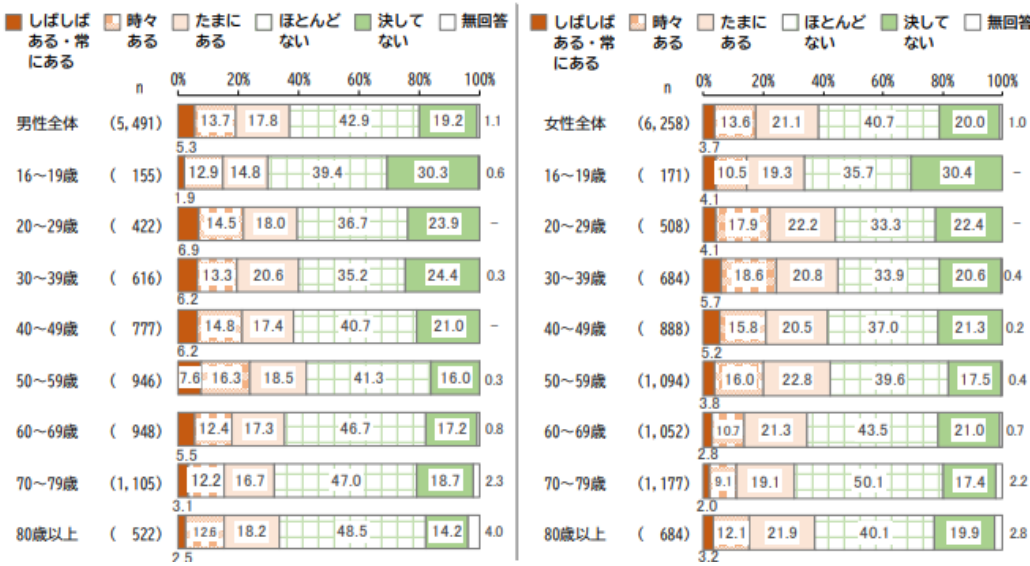
孤独の状況（年齢階級別、男女別の孤独感、孤独感の継続期間）

- 孤独感を年齢階級別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、30歳代から50歳代で高い（図3）
- 男女別にみると、男性が5.3%、女性が3.7%
  男女・年齢階級別にみると、男性では50歳代、女性では30歳代で高い（図4）

【図3】年齢階級別孤独感



【図4】男女・年齢階級別孤独感



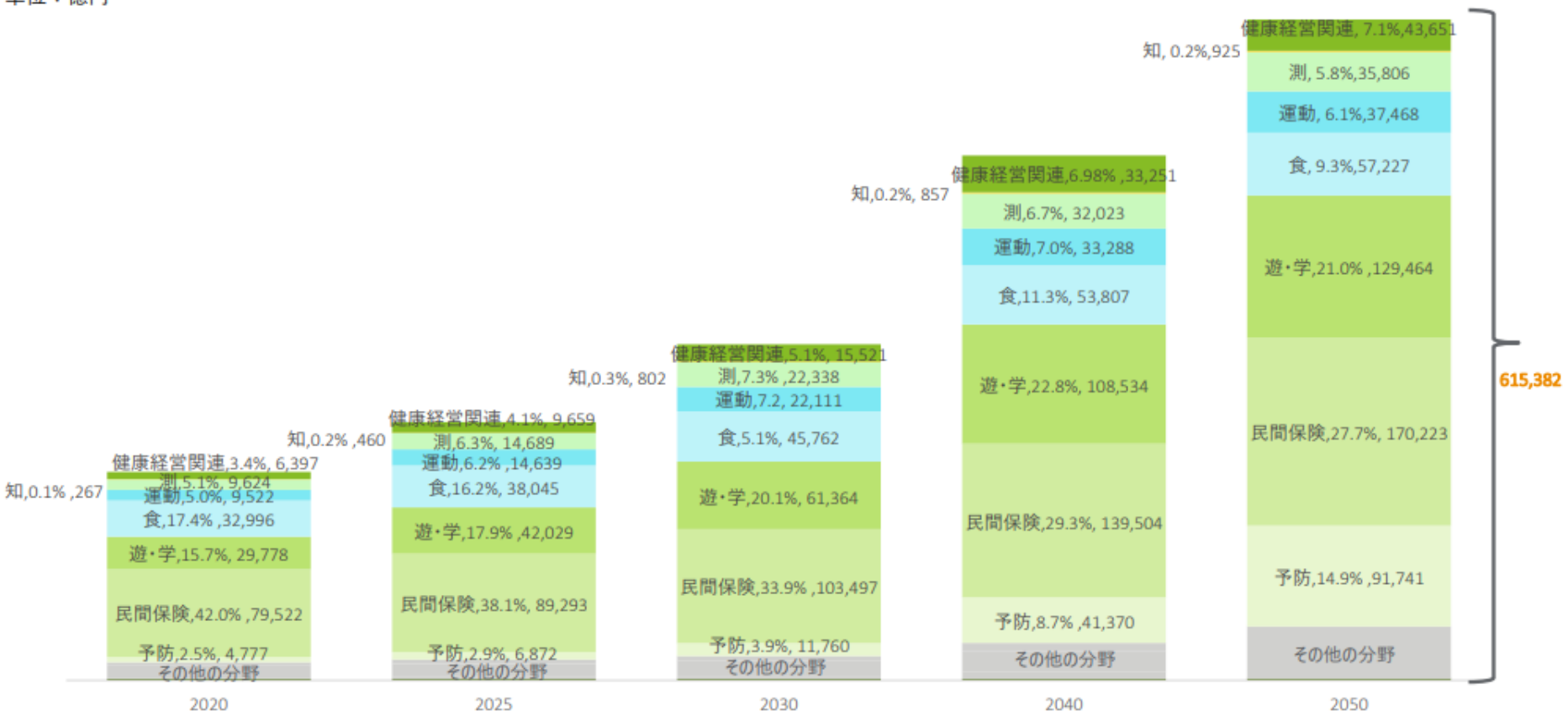
内閣府「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査（令和7年実施）」
https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r7/pdf/tyosakekka_point.pdf

長期展望データに注目を…

ヘルスケア産業のうち健康保持・増進に働きかけるものについて、2050年に向けて、健康経営を支えるサービス及び予防の占める割合が増加する

ヘルスケア産業の市場規模推計と分野別割合（健康保持・増進に働きかけるもの）

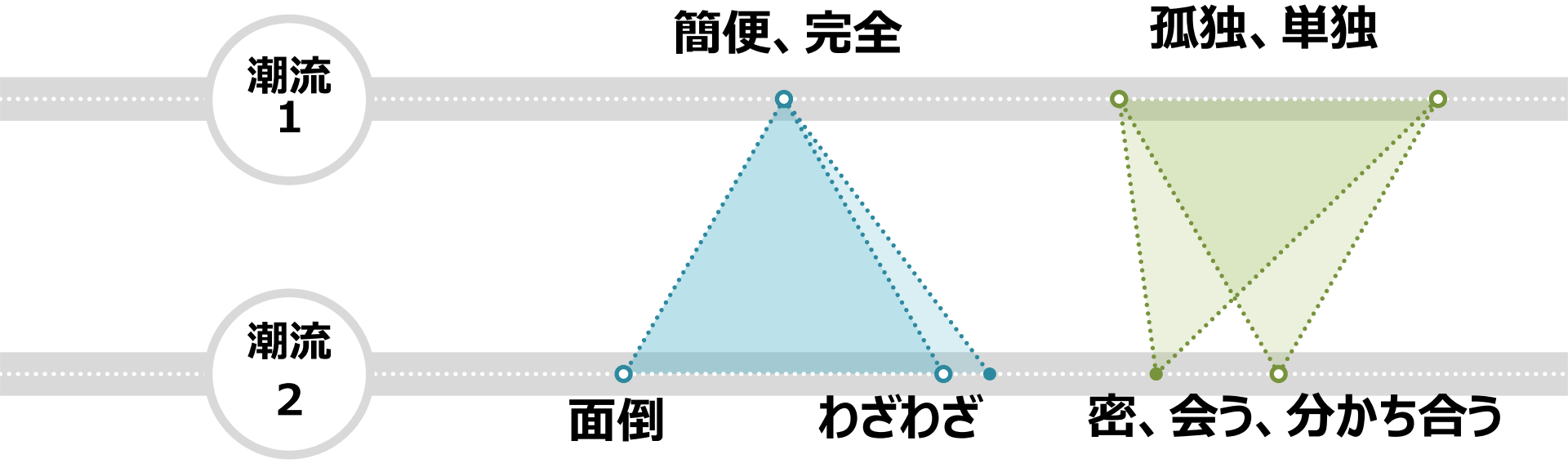
単位：億円



経済産業省「令和4年度ヘルスケアサービス社会実装事業（国内外での健康経営の普及促進に係る調査）」2023年6月
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/R4_itaku_sijyo.pdf

反対側に
目を向けてみる

二極化と反対側に宿る未来のチャンス



2050年に求められる能力は…

現在は「注意深さ・ミスがないこと」、「責任感・まじめさ」が重視されるが、

将来は「問題発見力」、「的確な予測」、「革新性」が一層求められる。

56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル※	1.09
意欲積極性	1.09
⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル

2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性※	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル：口頭	1.08
科学・技術	1.07
柔軟性	1.07
⋮	⋮

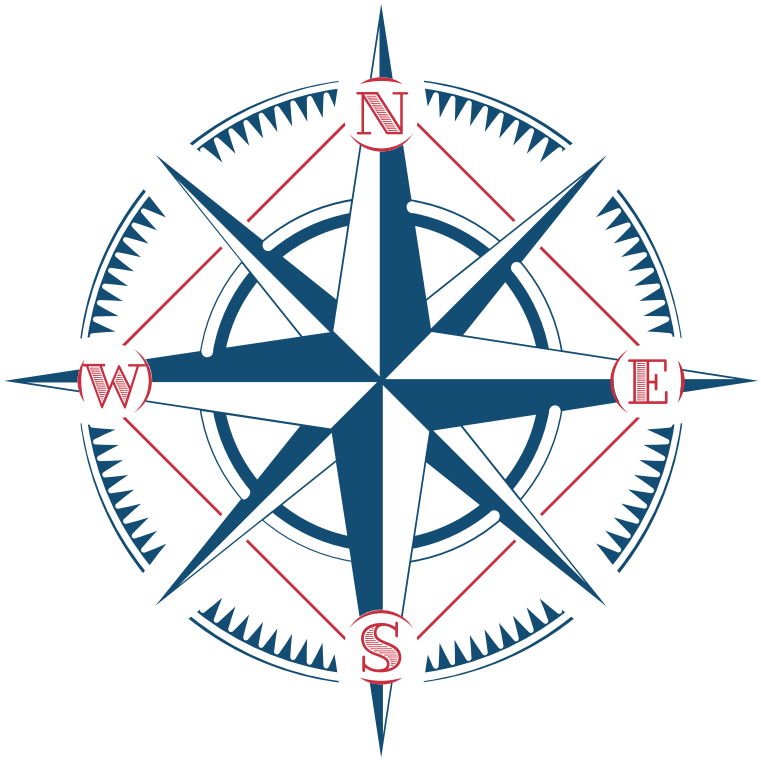
※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

経済産業省「未来人材ビジョン」2022年5月
https://www.meti.go.jp/press/2022/05/20220531001/20220531001-1.pdf

情報提供者として考えておきたい情報の価値

現場でしか入手できない
情報の存在

生成AI時代だから
こそ、意味を持つ



顧客の信頼を得て、
ここだけの話を入手

二次情報で、
一次情報を引き出す

国は書店活性化プランを展開

Ⅴ．新規開店やキャッシュレス決済に関する課題

街の書店を残していくためには、今ある書店を飲食等の新規事業と結びつける等、新しい付加価値を提供していくことに加え、新規出店が増加することも望ましい。従来、新刊を扱う書店を出店するためには、多額の保証金を取次会社に支払う必要があり、それが新規出店のハードルとなっていたが、最近では株式会社トーハンの「HONYAL（ホンヤル）」や楽天ブックスネットワーク株式会社の「Foyer（ホワイエ）」等、少額仕入に対応できるようにする事例も出てきている。こうした取組により、「独立系書店」と呼ばれる個性的な個人経営の小規模書店が増加しているとも言われており、本屋を開業したいというニーズは依然として存在していると考えられる。他方で、既存の書店では後継者不足に悩まされている現状もあり、後継者に悩む既存書店から書店をやりたい人材への事業承継が進むことが期待される。

関係者からのヒアリングでは、書店に限らず小売業全般の課題としてキャッシュレス決済比率の増加による手数料負担の増加や、入金サイクルによる資金繰りが課題として挙げられた。

■具体的な施策

Ⅴ－①　書店を活用した地方創生の取組への支援

・　地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、新しい地方経済・生活環境創生交付金により、地域の書店を含む商店街や中心市街地の活性化の取組など、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を支援する。
【内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局】

経済産業省「書店活性化プラン」2025年6月
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/PDF/syotenplan.pdf

図書館は話題に事欠かない…

○図書館、2000年以降に3割増　本離れでも地域の「ハブ施設」に
（日本経済新聞、2026年5月9日）

○増える図書館、都市の中核担う
（日本経済新聞、2026年3月10日）

○大阪・門真市にCCC運営の図書館　カフェや子ども向けラボで集客
（日本経済新聞、2026年5月11日）

○図書館が都市戦略の要に、100万人の集客装置として注目高まる
（日経クロステック、2025年10月22日）

○【東京】おしゃれで建築が美しい図書館14選。安藤忠雄・伊東豊雄らが手掛けた名建築も
（モダンリビング、2026年5月11日）

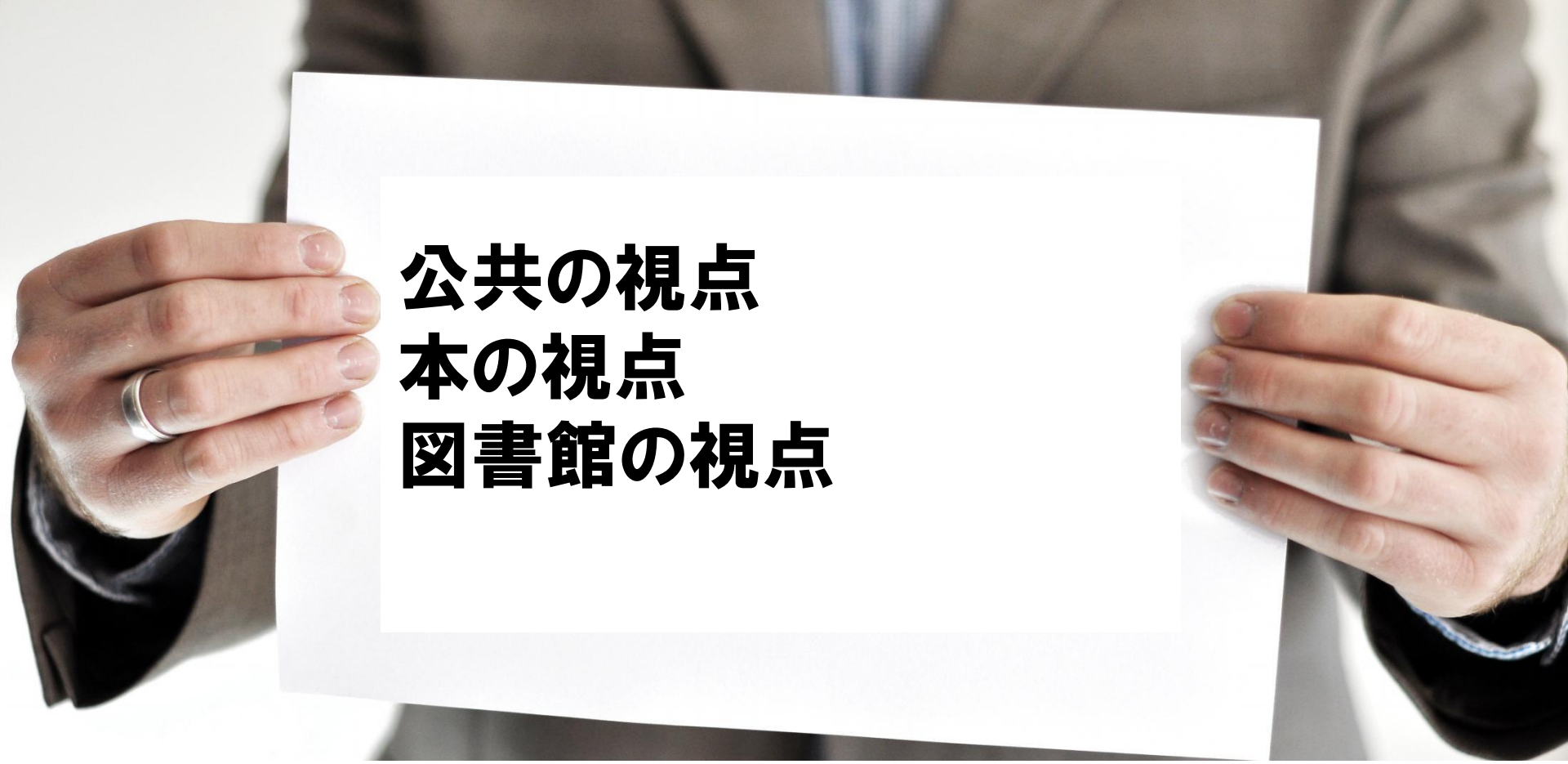
世界経済フォーラムも注目する図書館の未来

図書館は今、社会的包摂を促進し、健康長寿を支え、社会全体のレジリエンスを高める基盤インフラとして再定義されつつある。
単なる情報提供の拠点を超え、イベントや対話の場を創出することで、人々が家庭の外へと踏み出し、知的・身体的活動に参加する機会を広げている。
文化インフラとしての図書館は、コミュニティの結束を強化し、ウェルビーイングを高め、将来の不確実性に備える社会を構築するための**戦略的アセット**へと進化している。

ゴーゴー・インド
アジア雑貨屋さんの仕入れ術
旅の紙芝居
椎名誠
驚異の工匠たち
中島らものたまらん人々
武士道
新渡戸稲造
ケストルーム
中島らも
ディープ・バイカー・ブルース
本能の旅行記
男はつらいよの世界
アメリカ
フータンスタイル
僕にはわからない
中島らも
笑う住宅
石山修武
港町食堂
アジア2万km大攻略
週末海外!
最強の建築道
建築探偵 奇想の天外
建築探偵 神出鬼没
建築探偵 東奔西走
旅はゲストルームⅡ
さすがの猿飛
東京酒場漂流記
旅の理不尽
建築
京の店
小住宅の庭
空飛ぶタイヤ
父の終焉、私の書斎
椎名誠
世界恐怖旅行
大井徳子
アジアのプチホテル
インドへ
横尾忠則
怪しいインドの楽しい人々
クーロン黒沢
ビートたけし
ベトナム怪人紀行
つげ義春
みんなの家さん
佐藤忠男
ぼくの中がからっぽんだ
椎名誠
ぼくはなんにもしらない
ぼくはなんにもしらない
ぼくはなんにもしらない

図書館の未来を考えるために…

- デジタル化の進展は、リアルコミュニケーションの価値を高める
- なるほど、そうきたか…という知見を届ける
- 未来の世界観を展示等を通じて見せていく
- 図書館ならではの「合わせ技」を考えてみる
- 導線の工夫も不可欠
- 昔も今も腕の立つビジネスパーソンが実はやっていることとは…



私が考える「図書館」の未来像は…

都立図書館の引き続きの
ご発展を心より
願っております。

株式会社日本能率協会総合研究所

MDB事業本部　菊池　健司